

都市の近代化による緑地の減少により、人々は癒しを求めるようになる、との信念のもと、民間によって1969年以来40年間にわたって経営されてきた自然公園型のテーマパークである。能古島北部に位置する園内の高台からは、遠景に福岡市街地や、志賀島などの博多湾沿いの山々を、中景に博多湾の水面を、さらに近景に四季の花々と樹木や芝生の緑を見ることができる。お花畑では、場所毎に植栽時期をずらし、コスモス等をなるべく長期間楽しめるようにするなどの工夫がみられる。島の地形を活かし、緩急の勾配を織り交ぜた造成により市民の憩いの場をつくりだし、当初のコンセプトを曲げることなく市民を惹きつけてきた実績を評価したい。（審査委員 坂井 猛）

のこのしま アイランドパーク お花畑

西区能古1624
用途:自然公園
完成年月:1969(昭和44)年4月
所有者:久保田観光株式会社
設計者:株式会社ZEN環境設計
施工者:久保田観光株式会社



福岡タワー、シーホークホテル、ヤフードームをもつシーサイドももち地区は、これにつらなるマリナタウン、小戸の両地区とともに、福岡の新しい顔を形成している。これらを眺める場所・〈視点場〉の典型に、能古島航路のフェリーがある。博多湾の船上から望むこの都市の眺めは、油山、飯盛山、背振山、立花山といった自然の山々を背景にして、水と緑と街なみの、調和のとれた絵柄を形成する。思えば視点場のしつらえが景観形成上とくに重要というのは、風景学の基礎知識であった。またこの学は、移動する景観、シークエンス景観の楽しさを教えるものでもあった。船上の私たちはこうして、景観の価値の認識の、コベルニクスの転回に与るのである。（審査委員 山下 三平）

能古島行きの フェリーから見た 福岡の風景

西区愛宕浜3-1-1
(姪浜旅客待合所)
航路:能古~姪浜
運航開始年月:1947(昭和22)年11月
事業者:福岡市(港湾局)



バステラスが登場して以来、バスを待つ時間が人々のささやかな楽しみとなった。周囲の環境を阻害することなく街と融和するブルーグレーのシックな上屋に、ガラス風防とベンチが標準装備された空間は、常に清潔にメンテナンスされ、快適な時間を提供してくれる。そこには、バス情報はもとより、近隣の案内地図が掲出され、街の情報拠点としての機能も果たす。そして、バステラスのシンボルとも言えるのは、側面を飾る大型ポスターであろう。全国でも最高レベルと言われる厳しい審査をクリアし、内容とデザインを精査された広告たちは、それ自体が街の景観の一部となり、刻々と変化する時代の空気を伝えている。（審査委員 小野 和美）

バステラス

市内一円
用途:広告付きバス停留所上屋
開始年月:2006(平成18)11月
所有者:エムシードウコー株式会社
設計者:株式会社GK設計
施工者:エムシードウコー株式会社
関係者:西日本鉄道株式会社



糸島半島の豊かな自然環境と溶け込むかのように九州大学伊都キャンパスは存在する。急勾配の地形を活かし、個性的で重厚な建物が建ち並ぶ。何より開放的な空間に圧倒される。その構図はまるで社会に門戸を広げたいと願う大学の意志を示しているかのように思える。実際に学内研究者と市民が連携して里山などを整備し、敷地内で発見された希少種の保存に取り組んでいる。伊都キャンパスの開発は今後も続く。今回の受賞はいわば未完の景観に贈られたものである。キャンパス周辺は、『魏志倭人伝』に出てくる「伊都国」の歴史の舞台でもあっただけに、新たな都市空間を地域と一体となって築き、社会と共生する学術研究都市が整備されることを期待したい。（審査委員 山形 紀子）

九州大学 伊都キャンパス

西区大字元岡744番地
用途:大学
完成年月:2009(平成21)年3月
(工学系地区・センター地区)
所有者:国立大学法人九州大学
設計者:
国立大学法人九州大学
三菱地所・シーザーベリ・三島設計共同体、
ササキアソシエイツ
黒川紀章・日本設計共同体
株式会社空間創研
株式会社REQ元岡(株式会社エヌ・ティ・ティ
ファシリティーズ・株式会社教育施設研究所
設計共同企業体)
施工者:
鴻池・青木・上村特定建設工事共同企業体
清水・奥村・松本特定建設工事共同企業体
戸田・熊谷・満江特定建設工事共同企業体
株式会社REQ元岡(西松建設・新菱冷熱工業・
ダイダン・九電工・菱熱共同企業体)
株式会社鴻池組
鎌高・北洋特定建設工事共同企業体
飛鳥建設株式会社



木が育ち、人や車が行き交い、建物ができ、店が軒を並べ、それらすべてが一体となって、生きた景観が生まれる。生きた景観は、一朝一夕に成るものではなく、時がつくり、さらに時とともに変化する。福岡の中心部、警固交差点から赤坂3丁目交差点までの全長800メートルほどの「けやき通り」は、このようなタイプの景観である。昭和30年代に樹齢20年のケヤキが植えられてから50年あまりの時を経て、見事に成長した並木が沿道の店や行き交う人々の息づかいと調和して、洗練された文化的なエリアを形成した。夏には涼しげな緑のトンネル、秋には紅葉を、冬には幹や枝の生命力を見せてくれる。都会と自然が調和した贅沢な景観が魅力的だ。（審査委員 池田 美奈子）

けやき通り

中央区警固交差点~
赤坂3丁目交差点
用途:道路
完成年月:1993年(平成5年)4月より
建設省に移管
所有者:国土交通省 福岡国道事務所



小学校の運動場の芝生化は、近年、初等教育施設の緑化の中でよくみられるが、その維持管理は常に課題となる。百道浜小学校の運動場の芝生化では、百道浜グリーンプロジェクト規約の下に小学校、PTA、自治連合会他諸団体、校区内の事業所、行政当局などとの連携を前提とした維持管理の枠組みが設定され、実施されている。そのような状況の中で良く管理された芝生の運動場は、校庭の飛砂を防止するだけでなく、小学生児童にとっての良好な学習環境を形成すると考えられる。さらに、芝生の維持管理にかかわる多くの人々にとって、芝生などの緑を用いた協働による景観形成への関心を高める機会を提供している点で高く評価される。（審査委員 包清 博之）

百道浜小学校 運動場の芝生

早良区百道浜4丁目24番1号
用途:学校
完成年月:2008(平成20)年8月
所有者:福岡市(教育委員会)
関係者:百道浜小学校
グリーンプロジェクト

